



みはらふくし情報 11月号

令和4(2022)年
11月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599
本郷地域センター(三原市本郷保健福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター) 電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター) 電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

朝晩が寒くなり、いよいよ秋本番といった季節となりました。福祉活動では、外に出て紅葉を楽しむ予定を立てているところもあるようです。衣服の調整が難しいこの季節、体調管理には十分に気をつけていきましょう。今号は、大和地域センターから「サロン交流会」の様子と、本郷地域センターから「子育てサロン∞(むげんだい)本郷」の防災イベントの様子をご紹介します。



サロン活動を継続するために ～サロン活動者と福祉専門職との交流会～

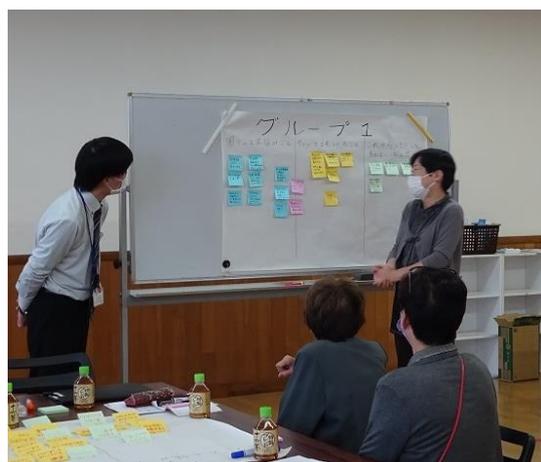
大和地域センター

大和地域センターでは、10月21日に、町内のサロンを対象に、「活動を継続するために必要なこと」を考える交流会を開催しました。活動者の他、保健師やケアマネジャー等の福祉専門職など13人が参加し、活動の工夫や心配なことなどを話し合いました。

意見交換では、「食事会からお弁当の持ち帰りに切り替えることで、活動の不安が減った」、「心配な人が増えてきたので、通常活動と合わせて、訪問して声掛けをする機会を作った」など、活動時の工夫が話され、参加者は今後の参考にしようと真剣に話を聞いていました。

また、「体調を崩してサロンを休む人が増えている」と話す活動者に対し、福祉専門職から健康や介護に関するアドバイスを受けたり、出前講座を活用して、サロンで学習する機会を持つことを提案されたりする場面があり、活動者が安堵する様子が印象的でした。

コロナ禍や参加者の高齢化など、様々な理由で活動の継続が難しいサロンが増えています。今回の交流会のように、活動の継続をテーマに、関係者で話し合うことで、活動のヒントが得られることもあります。社協も引き続き相談にのりながら、活動を応援していきます！



防災への意識を高めよう

～子育てサロン[∞](むげんだい)本郷 防災イベント～ 本郷地域センター

「子育てサロン[∞] 本郷」は、子育て世代を対象としたサロンの開催の他、防災啓発にも取り組む地域子育て支援サロンです。東日本大震災に関する講演会に参加したことをきっかけに、地域で防災イベントを開催するなど、熱心に活動しています。今年9月20日に、本郷保健福祉センターの避難訓練に合わせて、防災イベントを開催し、参加した未就園児の親子21人を対象に、日頃からの災害への備えを呼びかけました。



イベントのメインは「防災紙芝居」です。この紙芝居は支援者の手作りで、親子で一緒に災害時の避難と避難時に必要な物を考える内容となっています。参加者は、「まずは避難できる場所を確認したい」、「避難時に必要な準備物がよく分かった」と話し、親子で防災意識を高めていました。

子育てサロン[∞] 本郷では、防災紙芝居を無料で貸し出ししており、「各サロンで防災意識を高める機会に活用してほしい」と話しました。



防災紙芝居

お役立ち情報

運と集中力を味方に！「ペットボトルダーツ」

サロンや定例会などの集まりの時に、簡単にできるレクリエーションを紹介します。ルールは簡単！床に置いたペットボトルに向かって、割りばしを落とすだけ。1分間で何本入れられるかを競います！単純だけど、意外に難しい。みんなでやると盛り上がること間違いなし！

準備するもの

- ・割りばし(割ってあるものをたくさん)
- ・ペットボトル
- ・時計(1分間を計れるもの)

